

## 商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画 実施事業 詳細事業一覧

NO	事業名
<b>1. 中小企業の経営基盤強化</b>	
1	中小企業等信用保証料助成制度
2	りっとう創業塾の実施
3	創業支援希望者の支援体制の確立
4	栗東市小規模事業者持続化補助金制度
5	ビジネスチャンス拡大「りっとう元気力向上相談会」事業
6	空きテナント活用によるチャレンジショップ事業
7	小規模企業者支援のための「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設
8	元気な中小企業応援ガイドブック
<b>2. 消費者ニーズ創出</b>	
9	消費者ニーズ等の調査事業
10	域内調達拡大運動
<b>3. ブランド創出</b>	
11	栗東ブランド事業の推進
<b>4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出</b>	
12	栗東観光案内所の運営体制の拡充
13	空きテナントの現況調査と活用検討
14	既存のまつり等のイベントの検証と見直し
15	栗東駅前のにぎわい創出
16	中心市街地活性化関連事業
17	商工会館バリアフリー化事業
<b>5. 観光事業の推進</b>	
18	地域資源活用による観光事業推進
19	湖南 4 市の広域観光の連携拡充
20	観光客向けのコンテンツ拡充
21	観光振興計画策定（観光ニーズ調査事業）

事務事業名	中小企業等信用保証料助成制度
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<p>■県緊急経済対策資金信用保証料助成制度拡大延長【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業者の経営基盤強化を図り、地域経済の発展に資することを目的とする。対象の県融資制度及び市小規模企業者小口簡易資金制度の利用者に対する信用保証料の一部を助成</li> <li>○取り組み状況</li> <li>・平成28年度より県融資の助成対象を拡大。セーフティネットに加え、緊急経済対策資金、開業資金、栗東市小規模企業者小口簡易資金も対象に追加。</li> <li>・開業資金に対する助成割合を3/10に拡大。（平成30年3月31日まで）</li> <li>・平成29年度より制度案内のパンフレットの配布箇所を拡大。草津税務署や滋賀県信用保証協会にも設置を行う。</li> <li>・平成29年度より日本政策金融公庫における融資制度のうち、新規開業向けの融資を対象に、毎年支払い済み利子の一部（1.0%以内）を利子補給する栗東市創業支援融資利子補給金制度を創設した。</li> </ul>

指標	内容	各制度の助成件数		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画	○緊急支援信用保証料助成金交付制度 ・県融資分 30件 （セーフティネットのみ） ○予算額 2,805千円	○栗東市中小企業信用保証料助成制度 ・県融資分 59件 ・市小口分 70件 ○予算額 ・県融資分 9,668千円 ・市小口分 3,465千円 （平成26年度県融資実績）	○栗東市中小企業信用保証料助成制度 ・県融資分 36件 ・市小口分 40件 ○栗東市創業支援融資利子補給金制度 ・利子補給件数16件 ○予算額 ・県融資分 6,141千円 ・市小口分 1,980千円 ・利子補給分1,360千円 （平成27年度県融資実績）
課題	実績	○助成件数 ・県融資分 7件 ○実績額 738,556円	○助成件数 ・県融資分 29件 （県融資申請件数37件 助成金申請率78%） ・市小口分 0件 ○実績額 ・県融資分 3,995,970円 ・市小口分 0円	
	【参考】 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見	・中小企業振興会議や専門部会委員のネットワークによる制度周知の協力が必要。		
課題		・平成32年3月31日で制度が終了するため、継続又や廃止、他の制度設計等の検討が必要である。		
		・目標に対し申請が少ないことから、制度の周知について改善が必要である。		

事務事業名	りっとう創業塾の実施
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<p>■りっとう創業塾の実施【H27-H29】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年5月、産業競争力強化法に基づく国の第5次認定を受けた創業支援事業計画の実現に向け、りっとう創業塾を継続して実施するもの。</li> <li>特定創業支援事業として経営、財務、人材育成、販路開拓の4つの知識が身に付く講座を開き、地域の創業を促進させる。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年10月18日～11月15日 毎週日曜 5時間×5日 予算額 合計1,390千円</li> <li>平成28年9月29日～11月28日 朝の部、夜の部各2時間×10日 予算額 合計1,840千円</li> <li>平成29年10月4日～11月15日 2時間×10日</li> </ul>

指標	内容	創業者数		
	進捗	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	計画	9 名	9 名	9 名
		○創業支援事業計画における目標設定値	○創業支援事業計画における目標設定値	○創業支援事業計画における目標設定値
	実績	2 名（ 1 件）	5 名	
○受講者 30名 ○修了者 25名		○受講者 46名 （朝・夜延べ） ○修了者 39名 （朝・夜延べ）		
【参考】 平成 2 8 年度 中小企業振興会議に おける主な意見		・栗東市で創業する魅力を発信するとともに段階的支援を可視化が必要。		
課 題		○依存財源の確保 ・様々な依存財源の可能性を検討するなかで事業実施することが必要 ・平成 2 8 年度・ 2 9 年度においては創業支援事業者補助金を活用。 ○栗東市の創業支援事業計画終了後の対応 ・栗東市の創業支援事業計画は平成 3 0 年 3 月 3 1 日までであり、その後の事業について検討する必要がある。		

事務事業名	創業支援希望者の支援体制の確立
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<b>■創業支援希望者のネットワーク構築【H28-H29】</b> ・「りっとう創業塾」の受講生を始めとして、創業支援事業計画の実施期間を通じて、創業希望者に対する双方向の情報共有ネットワークを構築するためメールリングリストなどのプラットフォームを構築する。 ○取り組み状況 ・検討段階であり、具体的に取り組めていない。
	<b>■元気な中小企業や施策を紹介するメールマガジン配信制度創設【H29-H31】</b> ・元気な中小企業者施策を紹介するメールマガジンを配信し、市民に向けて、中小企業者の情報を配信するもの。 ○取り組み状況 ※情報拡散・情報発信は、重視すべき取り組みであるが、マンパワーや予算等を含めて効率的で効果的な施策を展開することが求められる。メールマガジンは、最低でも毎日の情報更新がなければ期待する機能を発揮できない懸念もあり、例えばfacebookを活用するなど、他の手法により代替策も考えられる。 以上の点から、メールマガジン等の情報拡散ツールのあり方を再整理していく。（平成28年度開催の第13回中小企業振興会議において、説明済）
	<b>■創業支援事業計画推進会議の立ち上げ(H28-H29)</b> ・創業支援事業の実施にあたり、関連する創業支援事業者や関係金融機関を中心とした推進会議を設置し、創業支援体制の充実を図る。 ○取り組み状況 ・検討段階であり、具体的に取り組めていない。

指標	内容	実施状況		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		・メールマガジンの配信	・情報拡散ツールのあり方の再整理と検討
	実績		・情報拡散ツールのあり方を再整理	
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議における主な意見		○栗東市で創業する魅力の発信するとともに段階的支援を可視化する必要がある。		
課題		メールマガジン等の情報拡散ツールのあり方を再整理していく必要がある。		

事務事業名	栗東市小規模事業者持続化補助金制度
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<p>■小規模事業者持続化補助金の市単独助成制度【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小規模事業者が、持続的な経営に向け、経営計画に基づいて取り組む創意工夫を凝らした地道な販路開拓等を支援し、地域の原動力となる小規模事業者の活性化を図る。</li> <li>・国の補助制度である小規模事業者持続化補助金制度を活用し、市による上乗せ補助を行う。(事業者負担の 1/2、最大 12 万 5 千円)</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度 栗東市小規模事業者持続化補助金交付制度、要綱の告示</li> <li>・平成 29 年度 平成 28 年度第二次補正予算の対象物件に対する支援(要綱の部分見直し)</li> </ul>

指標	内容	助成件数		
	進捗	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	計画		申請件数 40件 予算額 5,000千円	申請件数 40件 予算額 5,000千円
	実績		国採択件数 23件 市申請件数 23件 実績額 2,583,071円	○過去3年の国補助金の採択件数の平均30件に平成28年度第二次補正予算で重点化される雇用促進の追加分10件を想定し、12.5万×40件＝5,000千円
【参考】 平成 28 年度 中小企業振興会議に おける主な意見		・持続化補助金は時限措置であるため、制度廃止後の対応方を検討する必要がある。		
課 題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用、買い物弱者、海外展開対策については通常の補助額の 2 倍になるが、申請件数が少ない</li> <li>・申請件数を増加させるような努力が必要</li> <li>・国の施策の動向を注視する必要がある。</li> <li>・国制度終了後に、市単独事業としてどのような施策を講じるかを検討する必要がある。</li> </ul>		

事務事業名	ビジネスチャンス拡大「りっとう元気力向上相談会」事業
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<p>■よろず支援拠点連携によるサポート体制の確（市常設相談窓口設置）【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業者（創業希望者を含む）の解決が困難な相談に、ワンストップ窓口で支援する相談窓口を開設し、経営改善や売上げ向上を図る。</li> </ul> <p>■よろず支援拠点の定期的相談窓口開設【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りっとう元気力向上相談会では、滋賀県産業支援プラザよりよろず支援拠点の専門家派遣により、相談者のあらゆる悩みの相談に対応する。このほか、栗東市商工会や、相談内容に応じ市職員も、サポート体制として相談会に出席する。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度 滋賀県産業支援プラザに定期窓口の開設に向けた相談</li> <li>・平成28年度 7月から相談窓口の開設 <ul style="list-style-type: none"> <li>※毎月、定期開催（第4週 月曜日 ①10時～ ②11時～ ）</li> <li>※相談者の希望にも対応できるよう日程に関しても相談に応じる。</li> </ul> </li> <li>・平成29年度 4月から継続して実施 チラシ3,000枚・HP・ポスター・広報等を使用して情報拡散。</li> </ul>

指標	内容	相談件数		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		18件 (7月から3月の月1回につき2件の受付)	24件 (月1回につき2件の受付)
	実績		6件	
【参考】平成28年度中小企業振興会議における主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者が少ない。</li> <li>・業種を絞るなどの相談会の特化をしてはどうか。</li> <li>・相談窓口の効果的な運用に向けた「情報提供」のあり方を検討。</li> <li>・マーケット情報など「ききたくなる」アドバイス体制が必要。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業希望者や小規模企業者に向け、相談希望者への情報伝達を効果的に進める方策の検討が必要。</li> </ul>			

事務事業名	空きテナント活用によるチャレンジショップ事業
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<p>■空きテナント活用によるチャレンジショップ事業【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年5月、産業競争力強化法に基づく国の第5次認定を受けた創業支援事業計画の実現に向け、チャレンジショップ事業を継続して実施するもの。商工会と連携し空きテナントを活用することで創業希望者の創業を後押しする。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度</li> </ul> <p>6月 事前準備 チャレンジショップ参加者の募集開始</p> <p>8月 チャレンジショップ出店者の決定（4店舗）（ウイングプラザ 1階） Aurora（生活雑貨販売）、ガジェットショップ 栗東（プログラミング教室、電子部品販売） Koti（エステティックサロン）、Toy's マニ屋（フィギュア・特撮グッズ販売）</p> <p>9月 オープニング 新聞折込チラシを栗東駅周辺7,500世帯に配布。</p> <p>2月28日 事業終了</p>

指標	内容	創業者数		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		・創業者 5名 (創業支援事業計画に基づく)	・創業者 5名 (創業支援事業計画に基づく)
	実績		・創業者1名 (チャレンジショップ参加者5名のうち、1件がウイングプラザ内で開業)	
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議における主な意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空きテナントや空き家対策を講じるときに、創業者を支援するのか、物件所有する不動産事業者を支援するのかも検討</li> <li>・チャレンジショップ付近での開業支援や、出店者の顔の見える化</li> </ul>		
課題		・創業されなかった方を創業に導く支援等が必要		

事務事業名	小規模企業者支援のための市管理職員による 「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<p>■小規模企業者支援のための市管理職員による 「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）を行うため、市管理職員が企業に出向き、新たなビジネスマッチングや国等の施策との融合を図りながら、中小企業と行政施策の相乗効果を目指すもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ調査として、平成28年度に企業内同和対策に係る企業訪問時に、景況感や域内調達に関する意向調査を行った。</li> <li>・平成29年度は、前年度の調査結果を踏まえて各企業へのヒアリングを行い、関係機関との協議や庁内での連携事業等を整理したなかで、次年度に向けた制度設計を行う。</li> </ul>

指標	内容	訪問（アンケート・ヒアリング）企業数		
	進捗	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
	計画		２１８社	１７社
			○企業訪問によるアンケート調査の配布数	○前年に実施したアンケート調査において、域内調達の見直しの可能性があるという回答のあった企業
	実績		７６社（34.9%）	
			○企業訪問によるアンケート調査の回答数	
【参考】 平成２８年度中小企業振興会議における主な意見		・商工会の伴走型支援とのすみ分けの明確化		
課 題		・栗東市商工会による経営発達支援事業等とのすみ分けを行うなかで、事業の効果的に運用できるように制度設計する必要がある。		



事務事業名	元気な中小企業応援ガイドブック
前半期ロードマップ	1. 中小企業の経営基盤強化
具体的施策の内容	<p>■「(仮称) 元気な中小企業支援を応援するまちづくりガイドブック」の作成 (H29-H31)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業者に向けて各種支援施策等をわかりやすく情報発信し、事業機会拡大や持続的発展へ向けたサポート強化。</li> <li>・中小企業振興会議における制度設計に向けた意見集約を行う。</li> <li>・チラシやメールマガジンなどの施策とのすみ分け方策を検討する。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルタント会社に委託業務を発注済。素案の作成に向けて、先進事例である他市のガイドブックの情報を収集し、平成29年度末までに完成する。</li> </ul>

指標	内容	ガイドブック作成数（配布数）		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画			2,600部
	実績			○H26年経済センサスにおける市内事業者数（公務関係等除く）
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見				
課 題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会が実施する経営発達支援計画における「企業の魅力発見ブック」を始めとした類似施策とのすみ分けが必要。</li> <li>・必要な情報等を簡単にわかりやすく収集できるように、作成する必要がある</li> </ul>		

事務事業名	消費者ニーズ等の調査事業
前半期ロードマップ	2. 消費者ニーズ創出
具体的施策の内容	<p><b>■消費者ニーズ調査【H28-H29】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズの把握を通じて、市内中小企業者の市民サポーターを募り、市民と事業者の共存共栄の関係を構築する。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に市民の消費行動等に関する実態把握のための消費ニーズ調査（空きテナント、買物バス等の調査を含む）を実施した。</li> </ul>
	<p><b>■市民・消費者・事業者ワークショップ（懇談会）【H28-H29】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民（消費者）へのアンケート調査を実施するとともに、調査結果を基に市民と事業者の懇談会（ワークショップ）を開催し、市民意向の傾向を探るとともに、市民（消費者）が市内事業者への関心を高め、地元購買に協力する市民（サポーター）になるよう、直接的な意見交換を行うとともに、市民が求める業種やサービスを調査するもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業者と市民に参加依頼済。10月3日と24日にワークショップを開催予定。</li> </ul>
	<p><b>■くりちゃんバスの利用状況の調査【H28】</b></p> <p><b>■無料送迎バスの社会実験【H29-H31】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くりちゃんバスの利用状況調査を通じて、バス利用者における市内事業所の利活用状況を検証するとともに、循環バスの利用増加を図りつつ、高齢化社会における交通弱者の買い物のあり方を検討するもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <p>※現状のコミュニティバスと無料送迎バスが並行して運行する場合、買物以外の目的により無料送迎バスを活用する傾向があると想定される。現時点で、無料送迎バスの社会実験を実施することは時期尚早であり、バスだけでなく移動を支える革新的な技術進歩の動向や県内・市内事業者の先駆的な取り組みにも注視しながら、今後も検討していく。（平成28年度開催の第13回中小企業振興会議に説明済。）</p>
	<p><b>■コンビニエンスストアと協働した商品開発【H30-H31】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストアとの連携による特名産品を活用した商品化を図り、地域資源の有効活用を目指すもの。</li> <li>・栗東ブランドを中心とした特名産品を活用した商品開発を働きかけ、地域限定商品等の販売促進や、シティセールスを行うもの。</li> </ul>
	<p><b>■地場産品コーナーの設置運動【H30-H31】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の生産品を把握した中で、地産地消の実現に向け、消費者とのマッチングを行うもの。</li> <li>・市内で生産されている農作物を把握したなかで、消費者とのマッチングにより消費拡大、地産地消の推進に向け、生鮮食品を扱う店舗等を中心として、地場産品コーナーの設置運動を行うもの。</li> </ul>
	<p><b>■大学との相互協定等の締結【H30-H31】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業振興事業を大学連携によりまちづくりとして取組みを進めるため、大学との相互連携協定を締結し、大学生がまちづくり参画しやすくなる基盤づくりを行う。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・龍谷大学と包括協定締結済（7月11火）</li> </ul> <p>相互の人的および知的資源の交流と物的資源の活用を図り、様々なまちづくり等の分野において相互に連携協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的としたもの。</p>

指標	内容	アンケート調査回答数・ワークショップの開催回数		
	進捗	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
	計画		2,000票	2 回
			○消費者ニーズ調査アンケート配布数（無作為抽出の市民対象）	○市民と事業者等のワークショップ開催回数
	実績		482票（22.4%）	
			○アンケート回答数	
【参考】 平成 2 8 年度中小企業振興会議における 主な意見				
課 題		・当調査事業は、元気な中小企業応援ガイドブックをはじめ、域内調達拡大運動等にも関連が深いため、それらの事業進捗を踏まえて、具体的な取り組みを検討していく必要がある。		

事務事業名	域内調達拡大運動
前半期ロードマップ	2. 消費者ニーズ創出
具体的施策の内容	<p>■既存補助制度見直しによる域内経済循環推進【H29-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の補助制度等を通じて市内経済の循環を通じて地域経済の活性化を図る。</li> <li>・商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進、地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）を目的に、市内事業者の活用を促進するもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年に各課で所管する補助事業を通じた物品調達や役務の提供等において、地元事業者活用の推進を検討できるものについて調査。</li> </ul>
	<p>■域内調達拡大運動【H27-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップセールス等による工場、物流施設、学校、病院、福祉施設等へ調達比率の引上げを要請する。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に域内調達拡大運動（りっとういいな！めぐるプロジェクト）のチラシ3,000部を印刷。トップセールスをはじめとして、市内事業所への配布・啓発を実施。</li> </ul>
	<p>■市の全調達に占める調達比率の引上げ【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内での市内調達比率の向上を目指す。H27結果数値より10%増加（H31）</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗東市庁舎内での消耗品・備品等の市内及び湖南エリアでの購入実績を調査。</li> </ul> </li> <li>・平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度と同様に庁舎内で公表、域内調達の啓発を行う。</li> <li>・平成28年度に実施した市内企業者の資材等の調達状況、今後のプロジェクトに対する意向等の結果に基づき、協力いただける市内企業者にヒアリングを行い、その結果等を踏まえて、市内企業者のデータベースを作成するとともに、プロジェクトの推進に向けた具体的な取り組みの検討を行う。</li> </ul> </li> </ul>
	<p>■（仮称）こなんビジネスマッチングフェアの開催【H30-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業者が取扱う製品や技術などの情報交換の場をつくり、新産業イノベーションの創造を目的に実施するもの。</li> <li>・（仮称）こなんビジネスマッチングフェアの開催を通じて、多様な中小企業者の製品や技術の展示会を行い、新たなビジネスチャンスや新製品の開発のきっかけづくりを行うもの。</li> </ul>
	<p>■市の補助事業見直しによる地元事業者活用特典の付与【H30-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の各課が所管する既存補助施策を通じて、地元事業者を活用することで特典の付与を行い域内経済循環に繋げるもの。</li> </ul>

指標	内容	栗東市庁舎内（域内含む）での市内調達率		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		調達率79.6% 調達支出額84.5%	調達率81.6% 調達支出額86.5%
			○商工振興ビジョンにおける目標設定値	○商工振興ビジョンにおける目標設定値
	実績	調達率77.7% （13,441件） 調達支出額82.4% （4,958,603千円）	調達率78.2% （11,131件） （前年比+0.5%） 調達支出額80.8% （4,837,330千円） （前年比-1.6%）	
<b>【参考】</b> 平成28年度中小企業振興会議における主な意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活における市内購買割合の10%増加は、ネット通販等が増加するなかでは厳しい指標。</li> <li>・消費者サイドの指標設定だけでなく、事業者サイド（市外へどれだけ販売したか）といった指標も必要であり、各サイドからみれば視点が変わってくる。</li> <li>・消費者サイド：消費者アンケート調査。</li> <li>・事業者サイド：市外への購買率アップ、景況感や在庫情報などの聞き取り調査も重要</li> </ul>		
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・域内調達推進に向けた市民サポーターの仕組みづくり</li> <li>・具体的な消費行動の変容を促すための仕掛け</li> <li>・メッセージ的な取組みのみか、あるいは、市内事業者しか使えない施策とするなど、取組み手法の強化を検討する必要がある。</li> </ul>		

事務事業名	栗東ブランド事業の推進
前半期ロードマップ	3. ブランド創出
具体的施策の内容	<p>■栗東ブランド認証制度事業【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗東ブランドによる認証制度の構築により、栗東ブランドの付加価値を高める制度設計をおこない、ブランド力による地域経済の活性化を目指すもの。</li> <li>・商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進、地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）を目的とする。</li> </ul> <p>■シティセールス戦略等による積極的な情報発信【H27-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティセールス戦略に合わせて栗東ブランド等の特名産品を全国に売り出すことを通じて、栗東市の魅力向上による商工業の活性化を目指すもの。</li> </ul> <p>■栗東ブランド認証によるデザイン性の高いPR【H29-H31】</p> <p>■認証ロゴマークの作成【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗東ブランド商品の開発時におけるデザイン協力なども含め、栗東ブランド認証による特典の充実を図り発信力を強化する。またロゴマークは、都市部の広告代理店や従来の公募選考ではなく、市内事業者の育成のため、市内在住のデザイナーを登用するなど、地域経済とデザイン力にこだわる。HP作成も同様に、ロゴマークにあわせて洗練された品質のものを域外への情報発信し、栗東ブランド認証への付加価値を高める。</li> </ul> <p>■産学官連携によるブランド開発販売の実施（拡大）【H29-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官が連携できるプラットフォームを構築し、新たな商品開発を通じて全国への発信を行っていくもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況（栗東ブランド事業の推進の各施策を総合して協議している）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度 栗東ブランド認証制度（全庁）の制度設計に向けた関係課による協議</li> <li>・平成29年度 栗東ブランド認証制度（全庁）の制度設計に向けた関係課による協議</li> </ul>
	<p>■ブランド力向上を通じた中学生・高校生の地元企業インターン事業【H30-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で生まれ育った中学生・高校生たちが、地元での就職希望者の増加を目指すもの。</li> <li>・市内の中学生・高校生の地元企業へのインターン事業を実施することで、地元企業の魅力を知り、住み続けたい地元の愛を育て、定住志向の醸成を図るもの。</li> </ul>
	<p>■栗東ブランド認証による域外消費に向けた展開【H30-H31】</p> <p>■大学連携による商品開発プロジェクトの実施【H30-H31】</p> <p>■大都市でのイベントへの積極的参加（拡大）【H30-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学官連携によりブランド開発を行い、市の魅力向上を目指すもの。</li> <li>・産学官が連携できるプラットフォームを構築し、新たな商品開発を通じて全国への発信を行っていくもの。</li> </ul>
	<p>■学校給食における地産地消の推進【H30-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食を通じた地産食材の活用による地産地消の実現を目指すもの。</li> <li>・学校給食を通じた地元農作物を積極的に活用し、地元の農作物への関心を高めるとともに、安全で安心な食材の活用や、輸送コストの削減による排出ガス削減、農作物の有効活用による農業収入の確実な確保など、多面的な効果を目指した地産地消費の実現を図るもの。</li> </ul>

指標	内容	認証件数（平成31年度までに20件）		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		シティセールスコア会議 （関係課）での協議	シティセールスコア会議 （関係課）での協議
	実績		0件 （コア会議での協議8回）	
<b>【参考】</b> 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗東ブランドの定義づけとして、世界に通用するレベルのものか、気軽に活用できるものか整理が必要。</li> <li>・栗東ブランドを活用した販路拡大策の検討</li> </ul>		
課 題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗東ブランド認証制度による地域資源の活用やシティセールスを打ち出すために、栗東ならではの制度設計を通じた認証主体の形成方策や、商品開発・販路拡大に向けた方策など、具体的な戦略を立案していく必要がある。</li> </ul>		



事務事業名	栗東観光案内所の運営体制の拡充
前半期ロードマップ	4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出
具体的施策の内容	<p>■栗東観光案内所の運営体制の拡充【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進を目的に、栗東市と栗東市観光物産協会が共同で運営している栗東観光案内所について、観光物産協会の事務局体制を確立することで案内所の運営体制並びに観光案内機能等を強化し、観光客へのもてなしを充実させることで更なる誘客増を目指す。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <p>≪平成28年度≫</p> <p style="text-align: center;">(変更前) (変更後)</p> <p>【変更内容】○栗東観光案内所職員数</p> <p style="text-align: center;">市職員4名、協会1～2名 → 市職員1名、協会4名</p> <p>○観光振興係・馬事業推進係業務が本庁舎へ移動</p> <p>≪平成29年度≫</p> <p>・職員体制 (変更前) (変更後)</p> <p>【変更内容】○栗東観光案内所職員数</p> <p style="text-align: center;">市職員1名、協会4名 → 市職員1名、協会6名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案内所改善等 <ul style="list-style-type: none"> <li>①案内カウンター設置・専属職員配置</li> <li>②開所時間延長（こんぜめぐりちゃんバス運行時）</li> <li>③展示販売品の充実</li> <li>④モニター、タブレット端末、パソコン及び電話設置</li> <li>⑤イベントの開催（手原駅1階自由広場）</li> </ul> </li> </ul>

指標	内容	観光案内所来所者数、商品売り上げ		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		<b>1,340人</b> ○観光案内所来所者数 (H27実績) <b>728,654円</b> ○観光案内所商品売り上げ (H27実績)	<b>2,095人</b> ○観光案内所来所者数 (H28実績) <b>722,402円</b> ○観光案内所商品売り上げ (H28実績)
	実績		<b>2,095人</b> ○観光案内所来所者数 (前年比156.3%) <b>722,402円</b> ○観光案内所商品売り上げ (前年比99.1%)	



<p>【参考】</p> <p>平成２８年度 中小企業振興会議に おける主な意見</p>	
<p>課 題</p>	<p>○インバウンド観光への対応</p> <p>近年大きく増加している訪日外国人観光客への対応として、ハード・ソフト両面での充実を図る必要がある。また、各観光地についても同様である。</p> <p>○商品売り上げ</p> <p>平成２６年度から売り上げ金額はほぼ横這い傾向にあり、新しい商品の導入等増加に結び付く販売を検討する必要がある。また、独自に開発した「くりちゃんグッズ」についても、新規販路拡大・新商品開発等取り組む必要がある。</p>

事務事業名	空きテナントの現況調査と活用検討
前半期ロードマップ	4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出
具体的施策の内容	<p>■栗東駅周辺まちづくり事業【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栗東駅東口公共用地の有効活用に向け、周辺住民等との協働によるまちづくりを基本姿勢に、にぎわい創出に向け商工振興に関連する空きテナント対策や用地の有効活用に向けたソフト施策を展開するもの。</li> </ul> <p>■空きテナントの現況調査【H28】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進、地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）を目的に、栗東駅前地区、手原・安養寺地区の空きテナントの現況を調査し、空きテナントカルテを作成し、これらの調査結果を基礎資料とし、空きテナント対策にかかる諸施策を検討するもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空きテナント実態調査の結果や、チャレンジショップ事業の実施実績等を踏まえ、本市住宅課が実施する空家等対策との連携を図りながら、空き店舗のマッチングを図るための情報提供ツールや、空きテナントの利活用に有効な支援制度（創業希望者対象の（仮称）チャレンジショップ支援奨励金制度）の創設などを検討する。</li> </ul>

指標	内容	空きテナント数（平成28年度調査結果に対して平成31年度に10%減）		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画			○栗東駅前地区 64件 ○手原・安養寺地区 71件
	実績		○栗東駅前地区 66件（総数323件） ○手原・安養寺地区 73件（総数243件）	○栗東市総合戦略における目標設定値
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見				
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>空きテナント対策の具体的な取り組み内容の検討</li> <li>空きテナント情報の一元化による創業支援策の検討</li> </ul>		

事務事業名	既存のまつり等のイベントの検証と見直し
前半期ロードマップ	4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出
具体的施策の内容	<p>■既存のまつり等のイベントの検証と見直し【H28】</p> <p>・商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進を目的に、分野別や地域別において、様々なまつりやイベントが開催されているなかで、イベントの開催日程や担い手の課題等もあり、相互連携等を進めるなかで、各種イベント等の最適化を図るもの。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>《平成28年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まつり実行委員会関係             <ul style="list-style-type: none"> <li>4/26 第1回栗東まつり実行委員会</li> <li>6/28 正副会長会</li> <li>7/14 第2回栗東まつり実行委員会</li> <li>9/6 第3回栗東まつり実行委員会・栗東まつり全体会合同会議</li> <li>10/20 引継ぎ（栗東まつり実行委員会→栗東市観光物産協会）</li> </ul> </li> <li>・観光物産協会関係             <ul style="list-style-type: none"> <li>11/14、12/5、2/2、3/1 執行部会 12/19、2/2、3/1 理事会</li> </ul> </li> </ul> <p>まつり実行委員会でまつりのあり方を検討し、平成29年度からは栗東市観光物産協会を主体として、市民まつりを実施することが確認される。実行委員会は引継後、解散する。その後、観光物産協会で協議を行い、平成29年11月11日に日産リーフの森で秋まつりを開催する方向性が決定される。</p> <p>《平成29年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6/12 6/26 7/10 7/31 8/21 9/4 9/19 10/10 10/23 執行部会</li> <li>6/12 7/31 8/21 9/19 10/10 理事会</li> </ul> <p>「りっとう市民秋まつり2017」の開催に向けた事業計画の各項目について、検討決定を行っていく。</p> <p>■（仮称）街かど美術館事業【H29-H31】</p> <p>・市内の商業店舗に、街かど展示スペースを設けることで、商業店舗を回遊する仕掛けを構築し、中心市街地の活性化を図るもの。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>検討段階であり、具体的に取り組めていない。</p>

指標	内容	栗東まつり実行委員会等開催		
	進捗	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
	計画		りっとう市民夏まつりの開催方針の検討	２，０００人
			○栗東まつり実行委員会	○りっとう市民秋まつり来場者数
	実績		りっとう市民秋まつりの開催方針の決定	
		○栗東市観光物産協会が主体となり平成29年度のまつりを開催することが決定		
【参考】 平成２８年度中小企業振興会議における主な意見				
課 題		・はじめての開催で手探りの状態での運営となるため、今回の経験を元に次回以降のまつりのあり方について、協会内において議論を進めていく必要がある。		

事務事業名	栗東駅前のにぎわい創出
前半期ロードマップ	4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出
具体的施策の内容	<p>■栗東駅前のにぎわい創出【H29-H31】</p> <p>・商工振興ビジョンロードマップに沿った事業推進、地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）を目的に、「栗東駅周辺まちづくり基本方針」（H26年度策定）に基づく、栗東駅前のにぎわい創出の実現に向け取り組むもの。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>《平成28年度》</p> <p>PR使節にまつりへの参加依頼があり、ステージイベント等に出演。</p> <p>《平成29年度》</p> <p>栗東駅前地域における地元有志による手作りのまつりである「栗東駅前夏まつり」に観光物産協会としても体系的に捉える栗東のまつりの一環として、PR使節の派遣や物産展の開催を通して、積極的に参加していく。なお、物産展への出展については、物産協会会員に呼び掛けを行っている。</p>

指標	内容	栗東駅前夏まつりの来場者数		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		3,000人	○来場者数 3,000人 ○会員出展依頼数 26事業者
	実績		4,000人	
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見				
課題		<p>市内には各地域等における様々なまつりが開催されていますが、観光物産協会として、どのように関わっていくかの議論を進めていく必要がある。また、手原駅では今年度1階自由通路にて物産展を開催しますが、今後いかに盛り上げていくか検討を加える必要がある。</p>		

事務事業名	中心市街地活性化関連事業
前半期ロードマップ	4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出
具体的施策の内容	<p>■りっとうバル・まちゼミ・セール事業【H29-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度より実施している「りっとうバル」をはじめとして、商業活性化イベントによる効果を一過性のものにとどめることなく、更なる拡充を進めるなかで、商業活性化の向上につなげる。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <p>バル事業等を通じて、市内の身近な店舗等の認知度の向上と地域活性化や地域振興に向けた取り組みを進めている。</p> <p>りっとうバル：商工会が平成25年度より実施されており、平成29年度も第5回を実施予定。</p> <p>まちゼミ：湖南4市商工会が平成24年度から「得するまちのゼミナール」を実施されており、平成29年度も実施予定</p> <p>セール事業：商工会が平成25年度と平成26年度は「ビッ栗ダービー」、平成27年度は「りっとうプレミアムチラシ」を実施された。</p> <p>■中心市街地活性化に向けた取組みの検証と見直し【H29-H31】</p> <p>■立地適正化計画による中心市街地活性化事業【H29-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画の策定に合わせ、中心市街地活性化に向けた施策を盛り込みコンパクトシティにおける商工事業者の役割を明確化し、将来的な少子化、高齢化社会に相応しい中心市街地の形成を図る。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <p>検討段階であり、具体的に取り組めていない。</p> <p>■安養寺景観まちづくり協議会との連携拡充【H29-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安養寺景観まちづくり協議会が実施する安養寺地区のまちづくりに積極的に参画するなかで、住商が混在するまちの強みを活かし、周辺住民のニーズに合わせた中心市街地の再生を目指すもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <p>検討段階であり、具体的に取り組めていない。</p> <p>■レンタサイクル事業拡大【H29-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会が実施しているレンタサイクル事業の拡充を図り、中心市街地の利便性向上を図るために行うもの。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <p>検討段階であり、具体的に取り組めていない。</p>

指標	内容	りっとうバル事業の参加事業者数		
	進捗	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
	計画	１０３事業者	７００事業者	７２２事業者
		○募集事業者数	○募集事業者数	○募集事業者数
	実績	５０事業者	６４事業者	
		○参加事業者（48.5%）	○参加事業者（9.1%）	
【参考】 平成２８年度 中小企業振興会議に おける主な意見				
課 題		・中心市街地活性化事業に関しては、栗東市商工会によるTMO構想の事業結果を 評価・検証したなかで、今後の方向性を検討する必要がある。		

事務事業名	商工会館バリアフリー化事業
前半期ロードマップ	4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出
具体的施策の内容	<p>■商工会館バリアフリー化事業（H29-H30）</p> <p>・栗東市商工会の活動拠点である商工会館においては、3階建ての建築物でありながらEV設置が未整備であり、多くの商工関係者を中心とする市民の利便性向上に向け、バリアフリー化を行うもの。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>《平成27年度》</p> <p>エレベーター設置調査：エレベーター等の設置に向けた調査</p> <p>トイレ改修工事：2階、3階トイレの洋式化工事</p> <p>階段手摺工事：階段の手摺設置工事</p> <p>外壁補修工事：崩落の危険性のある一部外壁の補修工事</p> <p>《平成29年度》 着手予定</p> <p>エレベーターの設置とそれに伴う会館レイアウトの変更</p> <p>1階トイレ改修・多目的トイレの設置</p> <p>身体障がい者対応駐車場の設置バリアフリー化対策工事の実施</p>

指標	内容	バリアフリー化事業の実施状況		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画			バリアフリー化対策事業の実施
	実績			
【参考】平成28年度中小企業振興会議における主な意見				
課題		・平成30年度の供用開始に向けたスケジュール		

事務事業名	地域資源活用による観光事業推進
前半期ロードマップ	5. 観光事業推進
具体的施策の内容	<p><b>■観光資源の開発（地域資源活用ビジョンの策定と効果的な運用）【H28-H31】</b></p> <p>・栗東ブランドの創造との観点から、既に存在しながら気付かれてこなかった魅力的な資源や新たな地域資源の「あるもの探し」を行い、これらを市民と共有することで、観光のまちづくりを推進し、本市への更なる誘客増を目指す。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>《平成28年度》</p> <p>シティセールスコア会議を通じて関係課間の調整を図る。</p> <p>《平成29年度》</p> <p>シティセールスコア会議を通じて関係課間の調整を図る。</p> <p><b>■マスコットキャラクター活用による本市PR事業【H27-H31】</b></p> <p>・本市マスコットキャラクターくりちゃんの活用充実に努め、行政内のイベントに留まらず広く市内外へのメッセンジャー的な役割を果たす活用を行うことで、全国的な栗東市の知名度向上を目指す。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>《平成28年度》</p> <p>くりちゃん関連グッズ作成（観光物産協会の補助事業で実施）</p> <p>県外での誘客キャンペーン等での活用</p> <p>ゆるキャライベント等への積極的な参加</p> <p>《平成29年度》</p> <p>くりちゃんグッズの戦略的な販売</p> <p>ゆるキャライベント等への積極的な参加</p>

指標	内容	マスコットキャラクター活用による観光イベント参加回数		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画	11回 参加予定イベント数	17回 参加予定イベント数	11回 参加予定イベント数
	実績	4回 ゆるキャラグランプリ等への参加	7回 ゆるキャラグランプリ等への参加	
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見				
課 題		<p>・ゆるキャライベントや県外での誘客キャンペーンなど、PR活動のノウハウを他市やコンサルから学び、効率的な情報発信を行うことが必要。</p> <p>・既に存在しながら気付かれてこなかった物を探すためには、地域を良く知る地元住民と、新たな視点を持つ地域外の人の協力が不可欠であり、共に行動できる環境を作り、地域資源の活用を検討する必要がある。</p>		

事務事業名	湖南４市の広域観光の効率化に向けた連携拡充
前半期ロードマップ	５．観光事業推進
具体的施策の内容	<b>■湖南４市の広域観光の効率化に向けた連携拡充【H27-H28】</b> ・商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進を目的に、観光振興について湖南４市の広域で連携を深め効率的に取り組むことによって、本地域の更なる魅力発信を行い、もって本市並びに湖南地域への来訪者の増加を目的とする。 ○取り組み状況 《平成２８年度》 スケールメリットを活かした観光事業の検討促進 《平成２９年度》 スケールメリットを活かした観光事業の検討促進

指標	内容	実施状況		
	進捗	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度
	計画	・県内外観光イベントへの参加	・県内外観光イベントへの参加 ・湖南４市観光パンフレット作成	・県内外観光イベントへの参加 ・新たに湖南４市がタイアップした観光事業（イベント）の検討 ・観光パンフレットを含むPRグッズの活用検討
	実績	５回 （県内外観光イベントへの参加数）	５回 （県内外観光イベントへの参加数）  ５,０００部 （食のパンフレット作成）	
【参考】 平成２８年度 中小企業振興会議における主な意見				
課題		・湖南４市の広域で連携を深め効率的に行動を起こすため、より密接な情報共有を行える環境づくりが必要。		



事務事業名	観光客向けのコンテンツ拡充
前半期ロードマップ	5. 観光事業推進
具体的施策の内容	<p>■観光客向けのコンテンツ拡充【H28-H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進を目的に、観光客向けのパンフレット等について、より本市の魅力を伝えることのできる内容とすべく改訂等を検討する。特に今後増加が見込まれる訪日外国人旅行者に対しては、外国語表記の観光パンフレットを作成するなどインバウンド観光に向けた対応を図る。</li> </ul> <p>○取り組み状況</p> <p>≪平成28年度≫ インバウンド観光に関する現況把握に努めるとともに、外国語表記の観光パンフレット作成に向けた準備作業を行う。</p> <p>≪平成29年度≫ 外国語表記（英語・中国語）の観光パンフレットを作成し、関西国際空港内にある観光案内所等へ設置</p> <p>■栗東ならではのホスピタリティのある案内標識の検討および設置【H31】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市を訪れる旅行者に心のこもった「おもてなし」を行い、まちの魅力を実感し、リピーターとなつていただく、または本市魅力を情報発信いただけるような環境を整える。</li> <li>・目的達成のための手段として、まずは案内標識の検討から始め、平成31年度を目途とし設置に着手する。</li> </ul>

指標	内容	観光パンフレット（ぶらり栗東）の作成部数		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		10,000部 (日本語版)	10,000部 (日本語版) 10,000部 (中国語版) 5,000部 (英語版)
	実績		12,600部 (日本語版)	
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見				
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光パンフレットによる情報発信に加え、年次的な受入体制の整備が必要である。特に、観光案内版・看板携帯などのハード整備だけでなく、携帯アプリの開発やクレジットカード決済、Wi-Fi等のインターネット接続環境など、ソフト面においても観光客のニーズや受け入れ先となる観光施設の現状を把握した上で、効果的なツールを導入する必要がある。</li> </ul>		

事務事業名	観光振興計画策定
前半期ロードマップ	5. 観光事業推進
具体的施策の内容	<p><b>■観光振興計画策定事業【H29-H31】</b></p> <p>・商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進を目的に、栗東ブランドの創造の観点から、既に存在しながら気付かれてこなかった魅力的な資源や新たな地域資源を活用し、観光客のニーズに合った観光のまちづくりを推進するため、観光振興計画〔(仮称)観光振興ビジョン〕を策定し、本市への更なる誘客増を目指す。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>    《平成28年度》         他市事例に関する情報収集</p> <p>    《平成29年度》         計画策定に向けた基礎資料として、観光ニーズ調査を実施（予定）</p>
	<p><b>■グリーンツーリズムの実施に向けた実態調査【H28】</b></p> <p>・グリーンツーリズムの活用意向調査や観光客のニーズ調査、並びに先進地や近隣市等の状況を把握し、本市におけるグリーンツーリズムの実現に向けた実態を調査する。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>    《平成28年度》         グリーンツーリズムを含めた近郊型レジャーに対するニーズ把握のための効果的な調査手法について情報収集を行うとともに、関係課と協議・調整を行う。</p> <p>    《平成29年度》         グリーンツーリズムの実態調査の実施（予定）</p>
	<p><b>■観光客や観光事業者へのニーズ調査【H29-H30】</b></p> <p>・湖南エリアの状況等も把握するなかで本市の観光振興施策に反映するために、観光客へのニーズ調査や観光関連事業者への実態調査により、各種情報の収集等を行い、近郊型レジャーのニーズを把握し施策に反映するもの。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>    《平成28年度》         他市事例に関する情報収集、調査手法についての検討</p> <p>    《平成29年度》         観光ニーズ調査（観光客ニーズ調査・観光関連産業実態調査）を実施（予定）</p>
	<p><b>■着地型観光商品開発に向けた旅行会社タイアップ【H29-H31】</b></p> <p>・シティセールス戦略・地域資源活用ビジョンに則り既存の観光施設等について改めて整理を行い、これらをもとに旅行会社仕入れ担当者との意見交換し、消費者の傾向をつかむとともに、新商品開発に向け栗東市の売込みを行う。</p> <p>○取り組み状況</p> <p>    《平成28年度》         平成30年度実施の県大型観光キャンペーンに向けた取り組みの中で、旅行会社及びびわこビジターズビューロー等関係機関との意見交換やワークショップにより、観光素材の磨き上げを行う。</p> <p>    《平成29年度》         馬を活用した着地型事業を計画し、昨年度に引き続き旅行会社及びびわこビジターズビューロー等との意見交換をふまえ、新商品を開発する。また、旅行会社商談会において、市及び商品のPRを行う。（予定）</p>

指標	内容	観光ニーズ調査の実施状況		
	進捗	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画		○ニーズ調査手法について情報収集及び関係課との調整	○観光ニーズ調査の実施 ・観光客ニーズ調査 サンプル500通程度 ・観光関連産業実態調査 サンプル100事業所程度
	実績		○ニーズ調査手法について情報収集及び関係課との調整	
【参考】 平成28年度 中小企業振興会議に おける主な意見				
課 題		○観光客のニーズに応じた観光のまちづくりを推進し、地域経済の活性につなげるためには、観光客の来訪動機や満足度、観光経済などの現状を確認することでの確なニーズ把握を行うことが必要である。また、受入体制の整備を年次計画的に実施することも必要である。		